

2019年7月1日

各位

東京都千代田区外神田一丁目18番13号
 株式会社エスプール
 代表取締役会長兼社長 浦上 壮平
 (コード番号: 2471)

問い合わせ先:
 取締役管理本部担当 佐藤 英朗
 電話番号 03 (6859) 5599 (代表)

2019年11月期第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、本年1月11日に公表いたしました2019年11月期第2四半期累計期間(2018年12月1日～2019年5月31日)の連結業績予想を、以下のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年11月期第2四半期(累計)連結業績予想値の修正(2018年12月1日～2019年5月31日)

(単位:百万円/未満切捨)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,068	466	460	298	18円90銭
今回修正予想 (B)	8,296	763	778	496	31円48銭
増減額 (B - A)	227	296	317	198	—
増減率 (%)	2.8	63.5	69.0	66.6	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年11月期第2四半期)	6,865	463	468	303	19円24銭

2. 修正の理由

売上高については概ね計画通り推移しましたが、損益面につきましては、障がい者雇用支援サービスにおいて農園の早期開設が進んだことで、相対的に利益率の高い設備販売を前倒しすることができました。その結果、5月度の設備販売は200区画と過去最高を大きく更新し、上期の販売実績についても430区画となり、期初計画の292区画を大幅に超えることとなりました。

以上の理由により、営業利益、経常利益、並びに親会社株主に帰属する四半期純利益が、期初予想を上回る見込みとなりました。

3. 通期の業績予想について

当社グループの当期の業績は、障がい者雇用支援サービスが牽引した結果、利益面を中心に期初計画を上回り推移しております。また、今後につきましても主力サービスを中心に好調を維持する見込みですが、現時点では業績予想の修正を要しない水準で進捗していることから、通期の連結業績予想は据え置いております。

以上

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があることにご留意ください。